

登録コード	UAA14500	開講年度	2026				
授業題目	日本語文化総合演習					担当教員	速水 香織
						副担当	鈴木 裕也
単位数	2	講義期間	前期	曜日・時限	木曜・4時限		
				授業形態	演習		
信大コンピテンシー非該当							
(1)授業の達成目標				授業で得られる「学位授与の方針」		【授業の達成目標】	
2 6 UAカリ・総人社・人間文化学, 2 5 UAカリ・総人社・人間文化学							
【人間文化学】思想、歴史、社会、情報、言語、芸術など多種多様な側面を持つ人間文化に関する深い素養と幅広い理解を基盤として、その文化を継承し、柔軟な感性と創造的な論考により専門領域の問題を客観的・学問的に究明し、独自に理論を構築する能力や仮説を検証する能力を有する。							
文学・言語（とその運用）に関わる学問領域を中心に学習して複眼的視点や横断的で高度な専門知識を身につけ、関係する時代・社会・文化などの背景と関係づけて、文学および言語（とその運用）に関する研究課題を批判的かつ総合的に分析し、理論的問題も含めて発展的に検討できる。							
(2)授業の概要		日本文学作品を複数点取り上げ、各時代背景に留意しつつ精読する。読解のための注釈作業等に基づいて受講者自身が作成した資料を教材として活用し、明確かつ効果的なプレゼンテーションを行う。					
(3)授業計画		第1回：ガイダンス（共同）速水、鈴木 第2回：古典作品の注釈と読解 仮名草子成立の背景と作者情報 速水 第3回：古典作品の注釈と読解 活字化（加工）された本文と原典との相違 速水 第4回：古典作品の注釈と読解 注釈にあたっての基礎作業（演習）速水 第5回：古典作品の注釈と読解 注釈にあたっての基礎作業（演習）速水 第6回：資料作成 ―画像データベースの活用 速水 第7回：資料作成 ―画像データベースの活用（演習）速水 第8回：フィールドワーク・国文学研究資料館見学（共同）速水、鈴木 第9回：藤原俊成筆昭和切『古今和歌集』概説 鈴木 第10回：和文資料と訓点資料 鈴木 第11回：真名序の講読（演習）鈴木 第12回：仮名序との比較（演習）鈴木 第13回：『古今和歌集』諸本、『本朝文粋』との本文異同 鈴木 第14回：訓点資料の講読（演習）鈴木 第15回：和文資料の講読（演習）鈴木 定期試験は実施しない。					
(4)成績評価の方法		目標への到達度をはかるため、各授業においてコメントシートの提出を課す（40点）。また、授業における作業への取り組み（40点）、フィールドワークに関するレポート（20点）を総合して評価する。得点による評価基準は次のとおり；合計100点満点のうち、90点以上を秀、80点以上を優、70点以上を良、60点以上を可と評価する。59点以下の場合は単位認定しない。					
(5)成績評価の基準		テキスト精読や補足的準備を中心とした事前および事後学習を基に授業での報告や討議への積極的・能動的な参加が求められる。以上に加え、レポート課題に対し適切に問題設定を行い、授業で学んだ専門的概念や視点をを用いて論理的に論述できれば、本授業の達成目標の「水準にある」と判定する。加えて、適切な具体例を挙げつつ論述できるならば水準の「やや上にある」とし、基本的概念と具体例を統合的に用いて論述できるならば水準の「かなり上にある」と判定する。さらに、授業で学んだ事項を統合的に用い、具体例を挙げつつ、応用的かつ発展的に、そして複眼的に論述できる場合は水準を「卓越している」と判定する。					
(6)事前事後学習の内容		各回において扱うテキストの事前読み込みは必須とする。また、実習に際しては、事前に十分な準備を整えること。 各回において学修した内容を定着させ、得た知識を実際に運用できるよう復習することを事後学習とする（知識の定着度を測るため、実習後の授業において小テストを実施する）。					
(7)履修上の注意		1)受講予定の学生は、学期が始まる前に本授業のeALPSページを確認すること。 2)授業内で取り上げる話題は、テーマを考える上ではごく一部の内容に留まるものなので、事前事後学習を含めた受講者の積極的な学びの姿勢を求める。 3)出席は前提となるので、無断欠席や理由なき遅刻・早退は認めない。					
(8)質問、相談への対応		担当教員のオフィスアワーやメールにおいて対応する。面談希望の際は事前に必ず連絡すること。 速水...金曜日昼休み（12:10-13:00）、khayami@shinshu-u.ac.jp 鈴木...木曜日昼休み（12:10-13:00）、yuyasuzuki@shinshu-u.ac.jp					
【教科書】		特に定めない。各回において、適宜資料を配布する。					
【参考書】		『仮名草子集成』第58巻（東京堂出版2017年） 新編日本古典文学全集『枕草子』（小学館1986） 『俊成筆昭和切古今和歌集両序』（八木書店2025）					